

図書館通信

7月の催しもの

★七夕イベント～お星さまにねがいごと～★

日時: 7月1日(日) 10:30～11:15

場所: 図書館おはなしコーナー

内容: 一緒に七夕かざりを作っておねがいをしよう☆
きらきら豪華な短冊はイベント限定! 読み聞かせもあるよ!

※小学校低学年以下のお子様は親子参加でお願いします。

★しょうちゃんと遊びま専科

～わたしのオリジナルえんぴつを作っちゃおう!★

日時: 7月14日(土) 14:00～15:00

場所: 図書館2階 企画研修室

定員: 15名(※要申込)

※小学校低学年以下のお子様は親子参加でお願いします。

★ダンボの会のおはなし会

日時: 7月22日(日) 10:30～(50分程度)

場所: 図書館おはなしコーナー

内容: 『エプロンシアター』

エプロンから飛び出す楽しいおはなし♪
(乳幼児から小学校低学年向け)

★夏休み習字の宿題お助け隊!

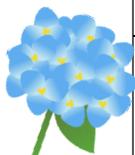
日時: 7月27日(金) 9:30～11:00

場所: 図書館2階企画研修室

講師: こばとの会(図書館ボランティア)

定員: 12名(※要申込)

※町内小学校3年生から6年生の児童
持ち物: 習字道具(墨汁を含む)・半紙・お手本・
新聞紙(約2日分)



ツイッターでも
情報配信中!



市貝町立図書館『いとくん』 @ittokun_ichikai



★開館時間変更のお知らせ★

7・8月は・・・

9:00 開館 19:00 閉館 です。



★歴史民俗資料館のイベント★

第33回企画展『化石を探る』

期間: 7月14日(土)～9月2日(日)

内容: 県立博物館との共催展です。展示を
通して化石について学ぶよ!

関連講座も実施します。

※詳細はお問合せください

【問合せ: 中央公民館 ☎68-0020】



★夏休み課題図書利用について★

(7月10日より)

- ①下野新聞小学生読書感想文コンクール
栃木県夏休みすいせん図書
- ②青少年読書感想文全国コンクール課題図書

★貸出冊数・予約は1カード1冊です。

★貸出期間、予約の取り置きは1週間です。

★貸出の延長はできません。



図書館カレンダー

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	(■ …休館日)			

8月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

159回 芥川賞・直木賞候補より作品紹介

159回芥川賞・直木賞候補が6月18日に発表されました。芥川賞ノミネートが5作品、直木賞ノミネートは6作品となり、直木賞候補には、湊かなえさんが「未来」で3度目のノミネートとなりました。

原作が映画やドラマ化されている、湊かなえさんが今回手がけた作品は、小学生の章子のもとへ一通の手紙が届きます。その手紙の送り主は未来の自分から？…いじめ、虐待、大人たちに翻弄されながら未来の自分を信じて前向きに生きていく姿を描いたもの。章子のその姿を皆さんはどう感じるでしょうか！！「告白」から10年、ダークで息が詰まる程濃厚な物語。湊ワールド、どんでん返しはあるでしょうか？

是非お読みください！



『未来』
湊かなえ // 著
双葉社



159回 芥川賞・直木賞ノミネート作品

★芥川賞★

『風下の朱』 古谷田奈月（早稲田文学書初夏号）
『送り火』 高橋弘希（文学界5月号）
『美しい顔』 北条裕子（群像6月号）
『しき』 町屋良平（文芸夏号）
『もう「はい」としか言えない』 松尾スズキ（文学界3月号）

★直木賞★

『破滅の王』 上田早夕里（双葉社）
『宇喜多の楽土』 木下昌輝（文芸春秋）
『じっと手を見る』 窪美澄（幻冬舎）
『ファーストラヴ』 島本理生（文芸春秋）
『傍流の記者』 本城雅人（新潮社）
『未来』 湊かなえ（双葉社）

◇スタッフおすすめ本◇



『ホームメイドアイスバー』
アイスクリームメーカーなしで
流しこむだけ！
荻田尚子 // 著 主婦の友社
(596/オギタ)

材料を混ぜて、冷蔵庫にポンッ！
あっという間にホームメイドのアイスクリームが出来上がり～！自宅にある身近なものを使うだけ。この夏は、好きな材料でホームメイドアイスバーに挑戦！

お気に入りのオリジナルアイスバーをぜひ、作ってみませんか？

♪七夕さま♪

ささの葉さらさらのきばにゆれる お星さまきらきら きんぎんすなご
ごしきのたんざくわたしがいた お星さまきらきら 空から見てる

作詞：権藤はなよ
補作詞：林柳波
作曲：下総暁一

しょうちゃんのひとりごと

アイスクリームを食べる頃になると思い出すことがある。それは、役場に勤務していた、昭和の時代のある日の出来事であった。

うちの子どもたちは、小さい頃、寄れば触れば喧嘩ばかりしていたことを覚えているが、今から話す子どもたちは仲良し兄弟の話である。当時、Aさん宅は子どもが7人もいたので、父母や祖父母も生活が大変だったため、小遣いもあまりやれなかったらしい。しかし、子どもたちはのびのびと育てており、助け合って生活している姿は近所の評判でもあった。ある日、私がいつもの店で昼食を食べていると、7人兄弟のうちの2人がお店に入ってきて、お小遣いでアイスクリームを買う相談をしていた。5円ずつ手に持っていたが、おいしい10円のアイスを買おうとお兄ちゃんが話を持ち掛けた。話が決まって購入し半分わけをしたが、大きいほうを弟に、小さいほうを自分で貰ったのである。絶対喧嘩にはならないなあと思いつつ私は見ていた。何でもないような話だが、普通の子なら兄貴面をして弟より多く取ってしまうことが世の常というもの、見ていて本当にほほえましい光景であった。どうしたらこんないい子たちになれるのか、この時、ほっこりとした気持ちになれた話の一コマで、今でもはっきりと覚えている出来事である。

